

第1回地域医療構想調整会議 データ関係一覧

・ 医療資源の状況	1
・ 医療従事者の状況	3
・ 訪問看護の状況	6
・ 在宅医療の状況	7
・ 平成27年度病床機能報告	12
・ 医療機能別の入院基本料・特定入院料の届出病床	16
・ 主な入院基本料・特定入院料の自己完結率の状況	28
・ 二次医療圏ごとの救急搬送患者の流出入	30

圏域別の医療資源の状況

病院施設数及び病院病床数

※上段は実数、下段は人口10万対

二次医療圏	病院施設数			病院病床数					
	一般病院	精神科病院		一般病床	療養病床	精神病床	結核病床	感染症病床	
奈良	23	22	1	4,399	3,031	741	587	40	-
	6.4	6.1	0.3	1,219.3	840.1	205.4	162.7	11.1	-
東和	12	12	-	2,661	2,027	544	86	-	4
	5.7	5.7	-	1,261.2	960.7	257.8	40.8	-	1.9
西和	18	18	-	4,197	2,467	894	836	-	-
	5.2	5.2	-	1,211.2	711.9	258.0	241.3	-	-
中和	20	17	3	4,946	2,588	968	1,381	-	9
	5.3	4.5	0.8	1,309.7	685.3	256.3	365.7	-	2.4
南和	5	5	-	770	566	204	-	-	-
	6.8	6.8	-	1,048.8	770.9	277.9	-	-	-
奈良県	78	74	4	16,973	10,679	3,351	2,890	40	13
	5.7	5.4	0.3	1,239.5	779.9	244.7	211.0	2.9	0.9
全国	8,540	1,064	7,476	1,565,968	893,970	328,406	336,282	5,496	1,814
	6.7	5.9	0.8	1,236.3	704.9	257.8	266.9	5.2	1.4

出典：厚生労働省「医療施設調査」(平成27(2015)年)

圏域別の医療資源の状況

一般診療所数及び病床数、歯科診療所数

※上段は実数、下段は人口10万対

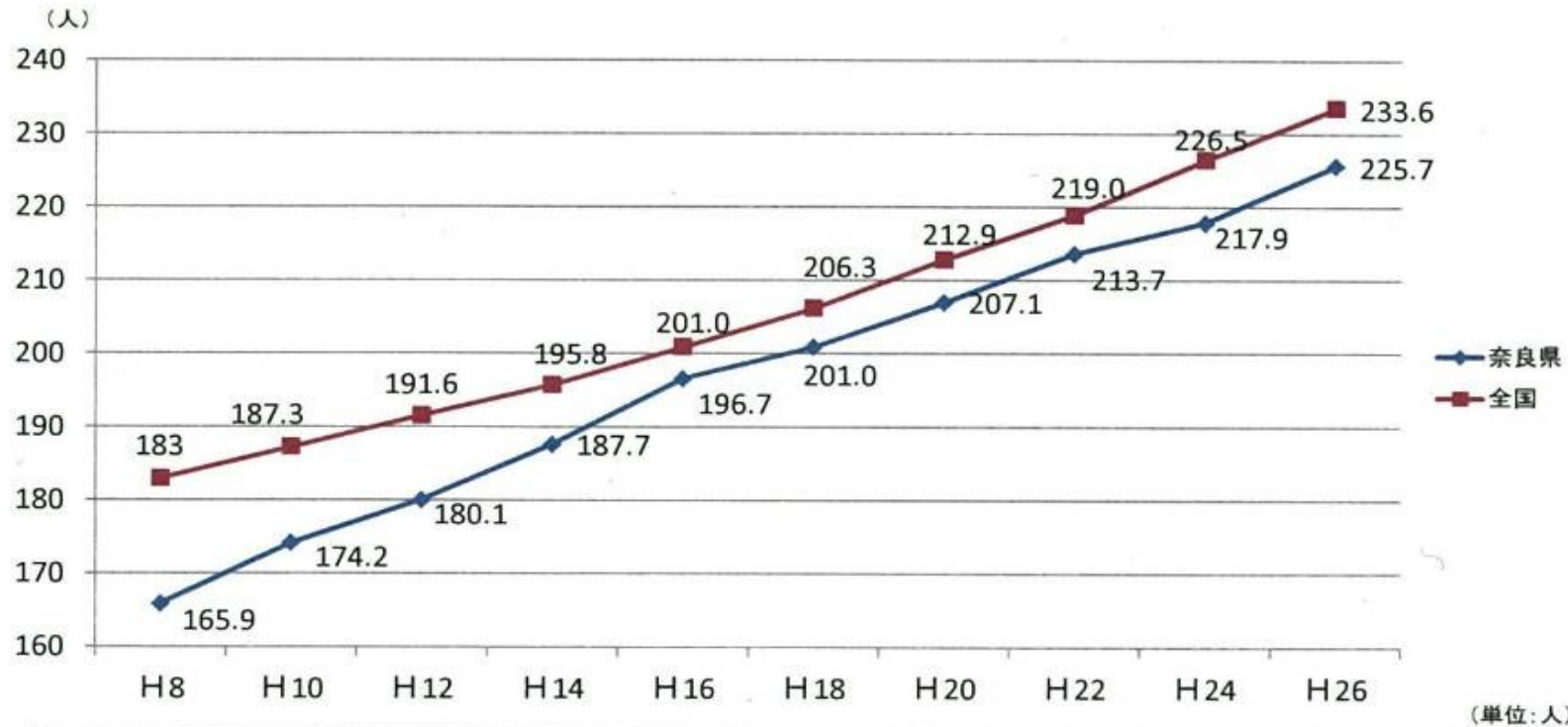
二次医療圏	一般診療所				歯科診療所
	施設数	うち有床診療所	病床数	うち療養病床数	施設数
奈良	383	13	153	-	204
	106.2	3.6	42.4	-	56.5
東和	160	11	113	-	93
	75.8	5.2	53.6	-	44.1
西和	277	8	96	10	166
	79.9	2.3	27.7	2.9	47.9
中和	306	11	125	-	203
	81.0	2.9	33.1	-	53.8
南和	73	6	74	16	38
	99.4	8.2	100.8	21.8	51.8
奈良県	1,199	49	561	26	704
	87.6	3.6	41.0	1.9	51.4
全国	100,995	7,961	107,626	10,657	68,737
	80.6	6.4	85.9	8.5	54.8

出典：厚生労働省「医療施設調査」(平成27(2015)年)

医師数の状況

奈良県 人口10万人あたり医師数(医療施設従事)の推移

・H8年とH26年を比べて10万人あたり医師数は、165.9人→225.7人(+59.8人)に改善



	H8	H10	H12	H14	H16	H18	H20	H22	H24	H26
奈良県	165.9	174.2	180.1	187.7	196.7	201.0	207.1	213.7	217.9	225.7
全国	183	187.3	191.6	195.8	201.0	206.3	212.9	219.0	226.5	233.6
差	17.1	13.1	11.5	8.1	4.3	5.3	5.8	5.3	8.6	7.9

データ出典：厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査」 奈良県統計課推計人口(各年12月1日時点)

医師数の状況

奈良県の年齢階級別の医療施設従事医師数の推移

(単位:人)

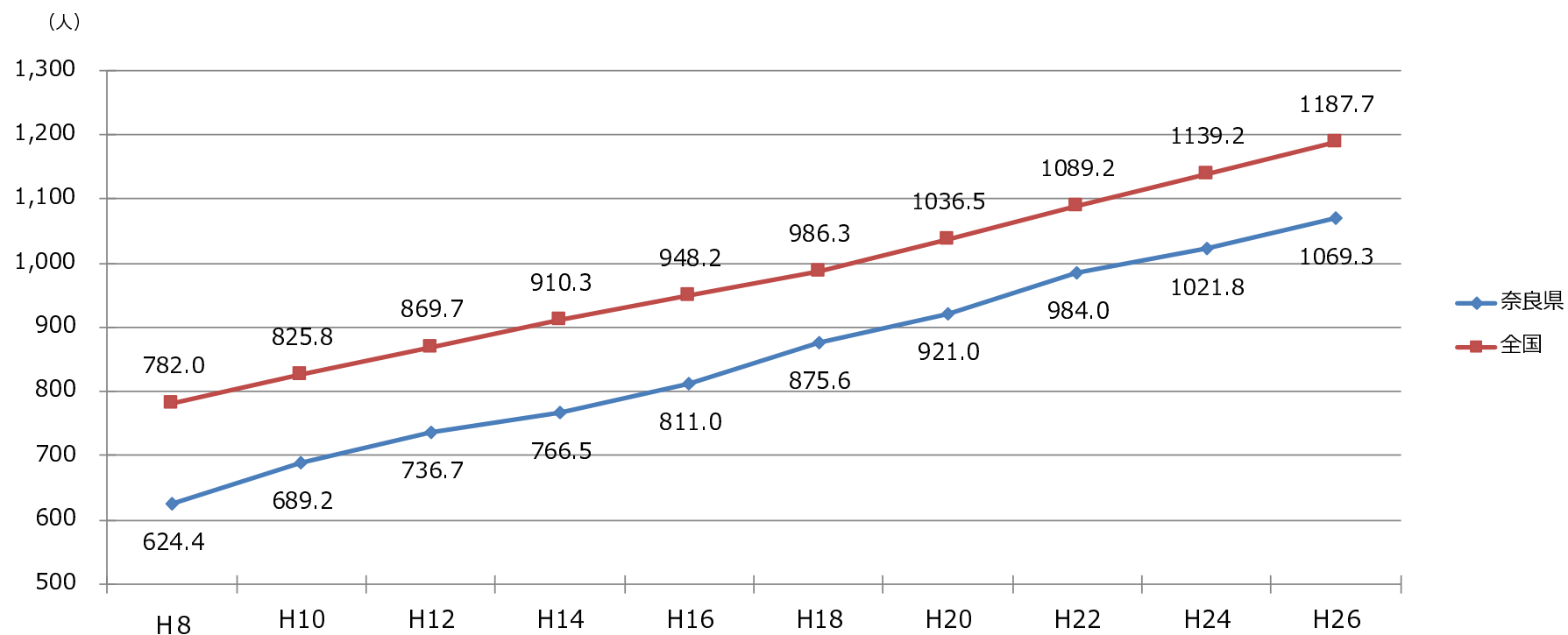
	平成16年	平成18年	平成20年	平成22年	平成24年	平成26年
29歳以下	311	243	241	235	251	202
30～39歳	750	724	699	693	647	669
40～49歳	782	799	759	758	747	760
50～59歳	507	596	654	695	730	794
60～69歳	213	231	294	364	415	496
70～79歳	193	192	171	164	159	178
80歳以上	59	61	89	85	80	102
計	2,815	2,846	2,907	2,994	3,029	3,201

出典:厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査」(平成27(2015)年)

看護職員数の状況

奈良県 人口10万人あたり看護職員数の推移

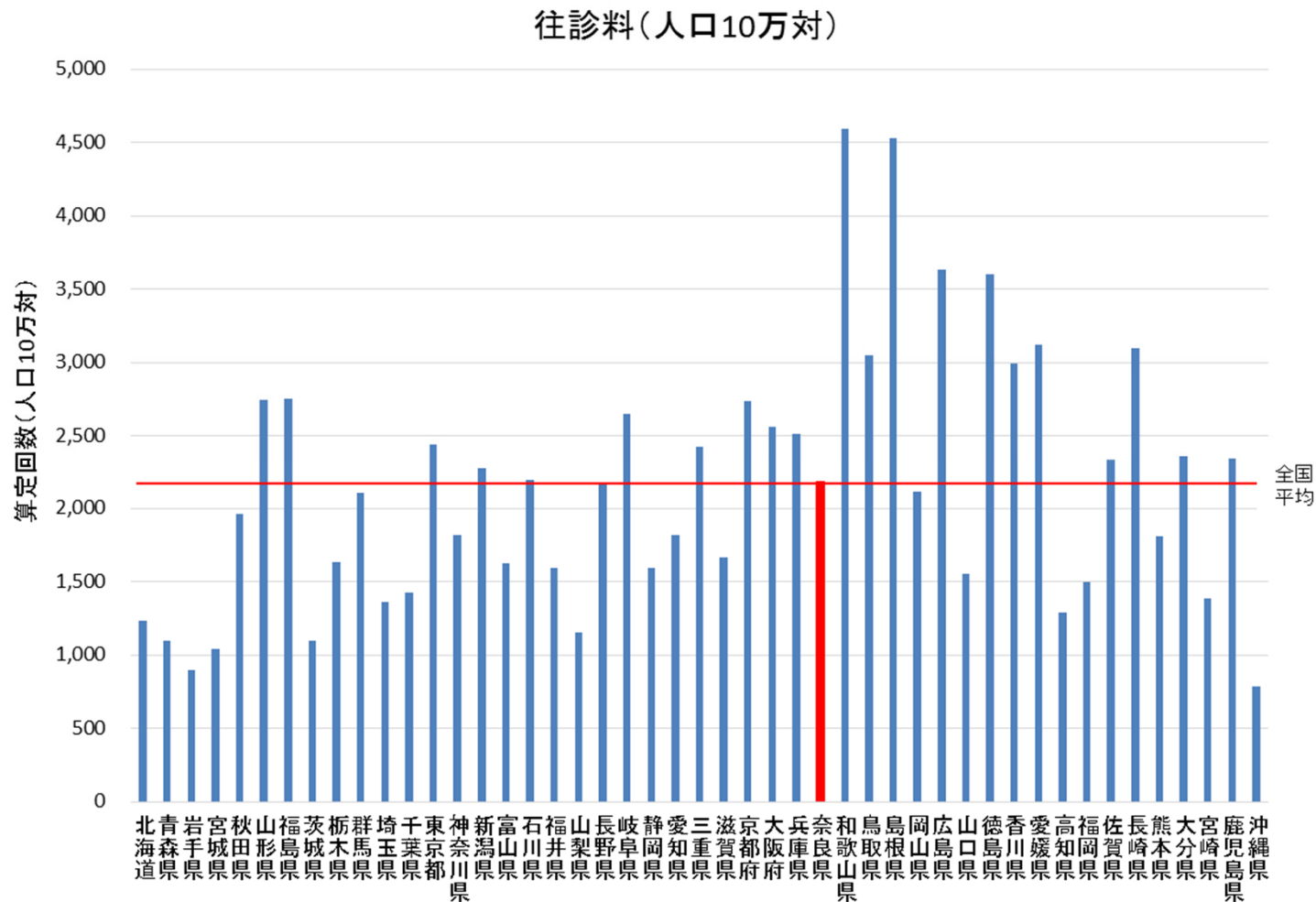
・H8とH26年を比べて10万人あたり看護職員数は、624.4→1,069.3（+444.9）に改善



(単位：人)

	H8	H10	H12	H14	H16	H18	H20	H22	H24	H26
奈良県	624.4	689.2	736.7	766.5	811.0	875.6	921.0	984.0	1021.8	1069.3
全国	782.0	825.8	869.7	910.3	948.2	986.3	1036.5	1089.2	1139.2	1187.7
差	157.6	136.6	133.0	143.8	137.2	110.7	115.5	105.2	117.4	118.4

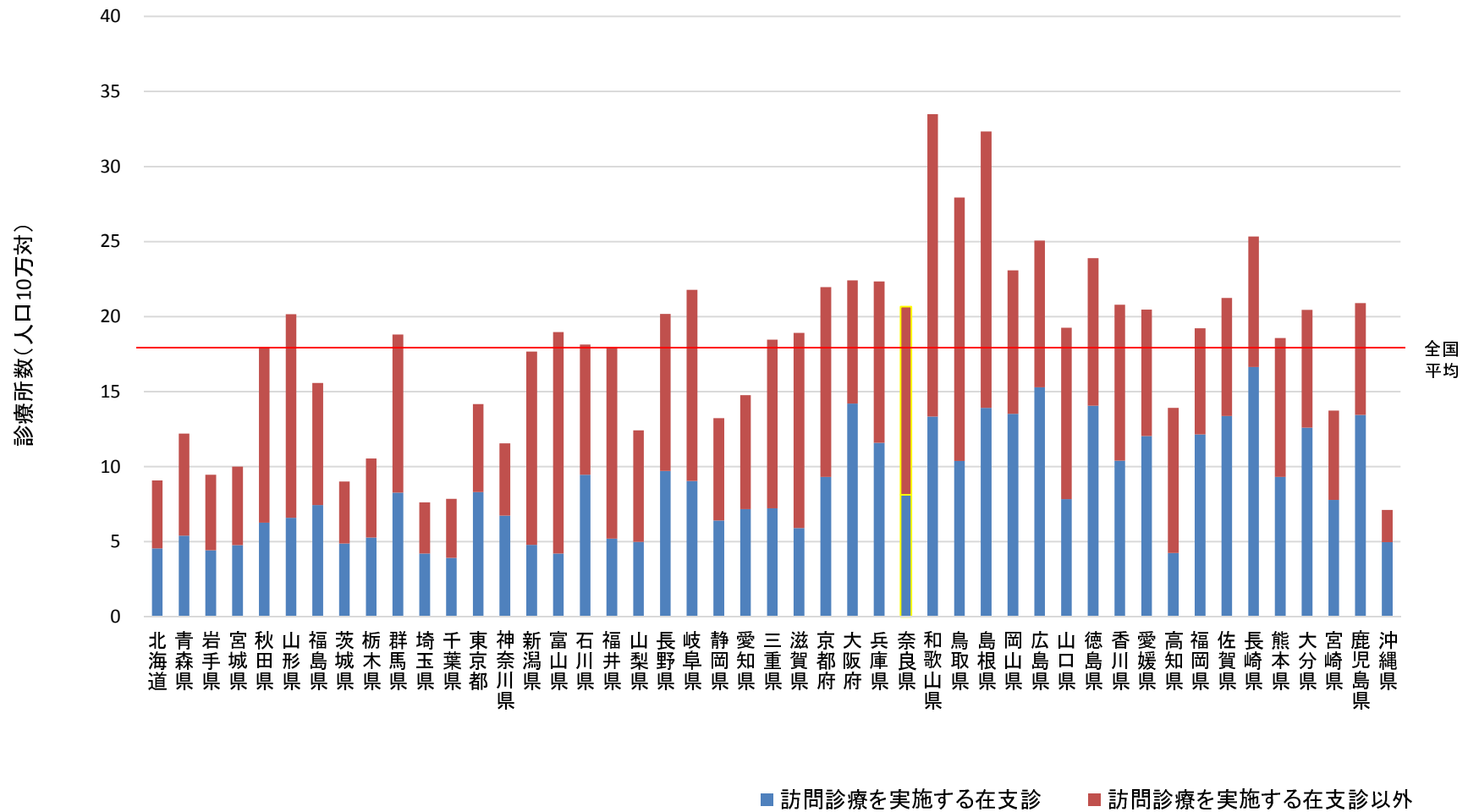
在宅医療の実施状況(他府県との比較)・往診



(データ出典:厚生労働省「第1回NDBオープンデータ(平成26年度分)」)

在宅医療の実施状況(他府県との比較)・診療所

訪問診療を実施する一般診療所数(人口10万対)



(データ出典:医療施設調査「平成26(2014)年」)

在宅医療の実施状況（県内）

- 県内では連携型機能強化型在支診が在宅医療における看取り機能の中心を担っている。
- 在宅療養支援診療所の届出をしても看取り実績がない診療所がある一方で、届出をしていない診療所でも、看取り実績がある診療所も存在する。

在宅療養支援診療所の県内の届出状況とレセプトデータに見る訪問診療状況等

届出分類	県内医療機関数	看取り実績1件以上					看取り実績なし	
		医療機関数	看取り対応割合	看取り件数	平均看取り件数	平均訪問診療件数	医療機関数	平均訪問件数
単独型機能強化型在支診	1	1	100%	8	8.0	854	—	—
連携型機能強化型在支診	29	27	93%	396	14.7	1,143	2	503
在宅療養支援診療所	113	56	50%	242	4.3	703	57	356
小計(在支診)	143	84	59%	646	7.7	846	59	361
その他の診療所(在支診以外)	1,044	36	3%	84	2.3	285	175	84
病院	77	8	10%	26	3.3	662	19	522
合計	1,264	128	10%	756	5.9	676	253	172

データ出典：平成26年度分医療レセプトデータ(市町村国保および後期高齢者医療制度被保険者)
在支診の届出状況等は平成27年3月31日時点

平成27年度 病床機能報告に基づく集計結果

(病床機能報告制度について)

地域医療構想の策定にあたり、地域の医療機関が担っている医療機能の現状把握、分析を行う必要があります。

そのために必要なデータを収集するため、医療機関がその有する病床(一般病床及び療養病床)において担っている医療機能を自ら選択し、病棟単位を基本として都道府県に報告する仕組みが導入されました。

また、医療機能の報告に加えて、その病棟にどんな設備があるのか、どんな医療スタッフが配置されているのか、どんな医療行為が行われているのか、についても報告することとしています。

(報告された情報の公表)

報告された情報を公表し、地域医療構想とともに示すことにより、地域の医療機関や住民等が、地域の医療提供体制の現状と将来の姿について共通認識を持つことができます。また、医療機関の自主的な取組及び医療機関相互の協議によって、医療機能の分化・連携が進められるようになります。

(医療機能について)

医療機関が報告し、都道府県が2025年の必要量を定めることとなる医療機能は、次の4つの区分です

高度急性期	○急性期の患者に対し、状態の早期安定化に向けて、診療密度が特に高い医療を提供する機能
急性期	○急性期の患者に対し、状態の早期安定化に向けて、医療を提供する機能
回復期	○急性期を経過した患者への在宅復帰に向けた医療やリハビリテーションを提供する機能 ○特に、急性期を経過した脳血管疾患や大腿骨頸部骨折等の患者に対し、ADLの向上や在宅復帰を目的としたリハビリテーションを集中的に提供する機能(回復期リハビリテーション機能)
慢性期	○長期にわたり療養が必要な患者を入院させる機能 ○長期にわたり療養が必要な重度の障害者(重度の意識障害者を含む)、筋ジストロフィー患者又は難病患者等を入院させる機能

平成27年度における報告期間について

報告様式1: 平成27年10月1日から平成27年10月31日まで

報告様式2: ○「電子レセプトにより診療報酬請求を行っており、6月診療分であって7月審査分の電子レセプトがある医療機関」の場合 平成27年12月11日まで(※11月下旬発送)
○「上記以外の医療機関」の場合 平成27年10月1日から平成27年10月31日

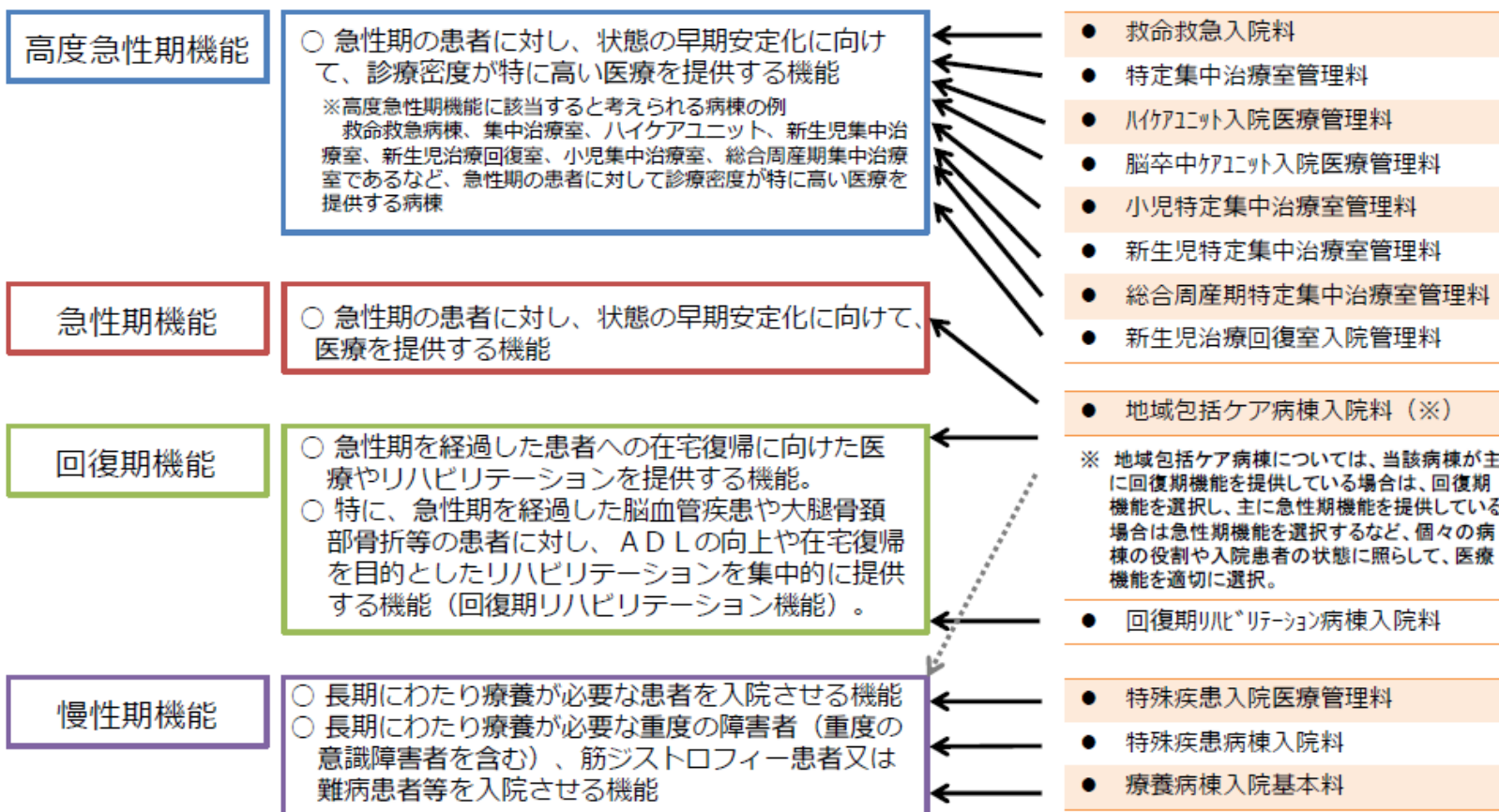
報告率

区分	報告対象数	報告数		報告率	
		様式1	様式2	様式1	様式2
病院	74	73	73	98.6%	98.6%
有床診療所	38	32	32	84.2%	84.2%
病院・有床診療所 計	112	105	105	93.8%	93.8%

特定の機能を有する病棟における病床機能報告の取扱

国資料

特定入院料等を算定する病棟については、一般的には、次のとおりそれぞれの機能として報告するものとして取扱う。



特定入院料を算定している病棟については、上記のようにどの機能で報告すべきか示されているが、特定入院料を算定していない病棟については、従来どおり、病棟単位の医療機能を4つの機能の中から、各医療機関の判断で選択することとなっている。

平成27年度 病床機能報告に基づく集計結果

奈良県における医療機能ごとの病床の状況

○現状

平成27年(2015年)7月1日時点の機能として、各医療機関が自主的に選択した機能の状況です。

二次医療圏	全体	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等
奈良医療圏	3,717床	63床	1,944床	546床	1,117床	47床
東和医療圏	2,670床	362床	1,423床	406床	360床	119床
西和医療圏	3,389床	534床	1,385床	409床	922床	139床
中和医療圏	3,626床	460床	1,894床	421床	807床	44床
南和医療圏	651床	0床	376床	50床	223床	2床
県全体 計	14,053床	1,419床	7,022床	1,832床	3,429床	351床

○6年後の予定

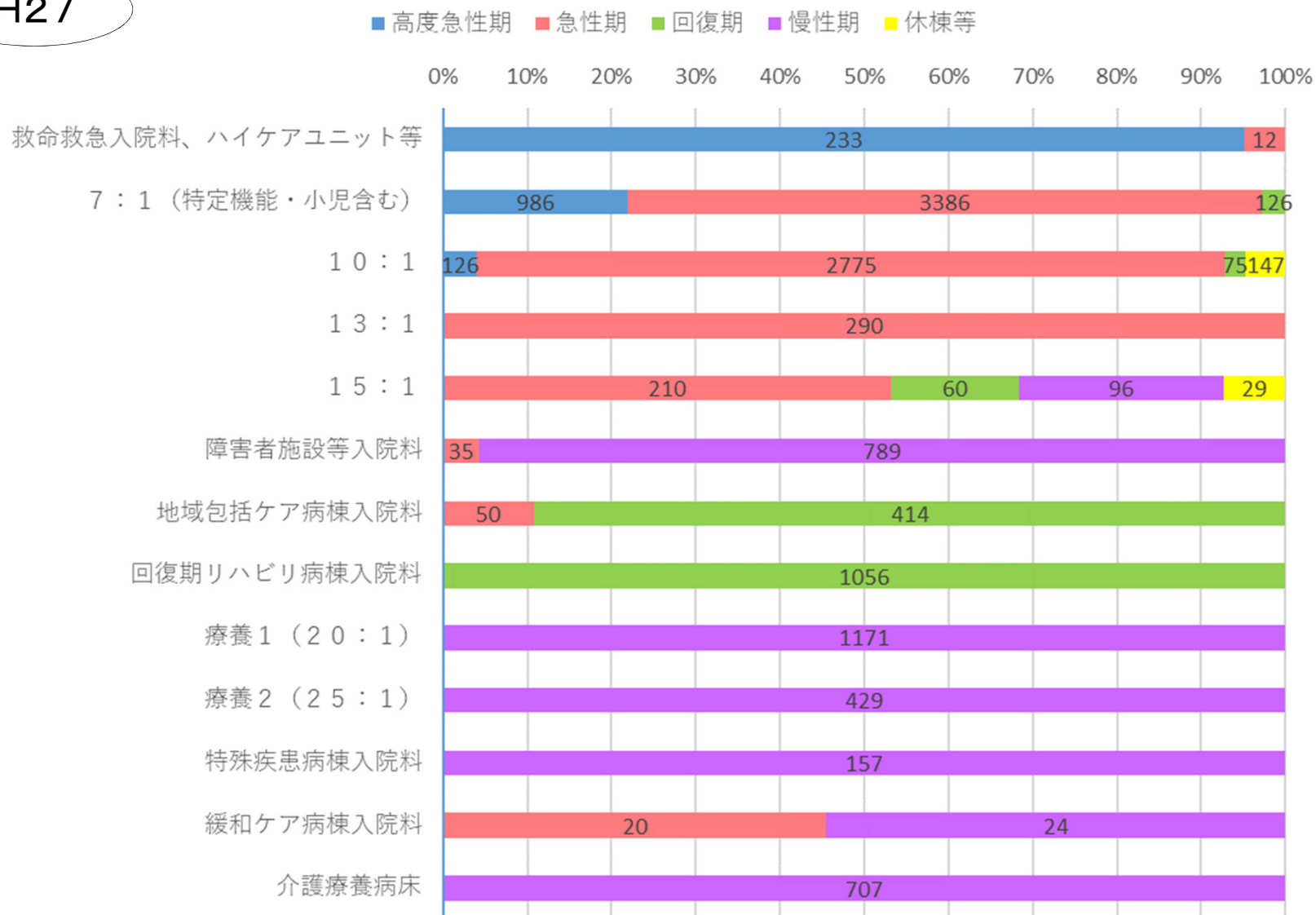
平成27年(2015年)7月1日時点から6年経過した時点の機能の予定として、各医療機関が自主的に選択した機能の状況です。

二次医療圏	全体	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等
奈良医療圏	3,717床	63床	1,944床	622床	1,070床	18床
東和医療圏	2,670床	362床	1,471床	519床	318床	0床
西和医療圏	3,389床	534床	1,524床	409床	922床	0床
中和医療圏	3,626床	460床	1,797床	576床	749床	44床
南和医療圏	651床	0床	166床	50床	264床	171床
県全体 計	14,053床	1,419床	6,902床	2,176床	3,323床	233床

医療機能別の入院基本料・特定入院料の届出病床の状況

【奈良県全体】

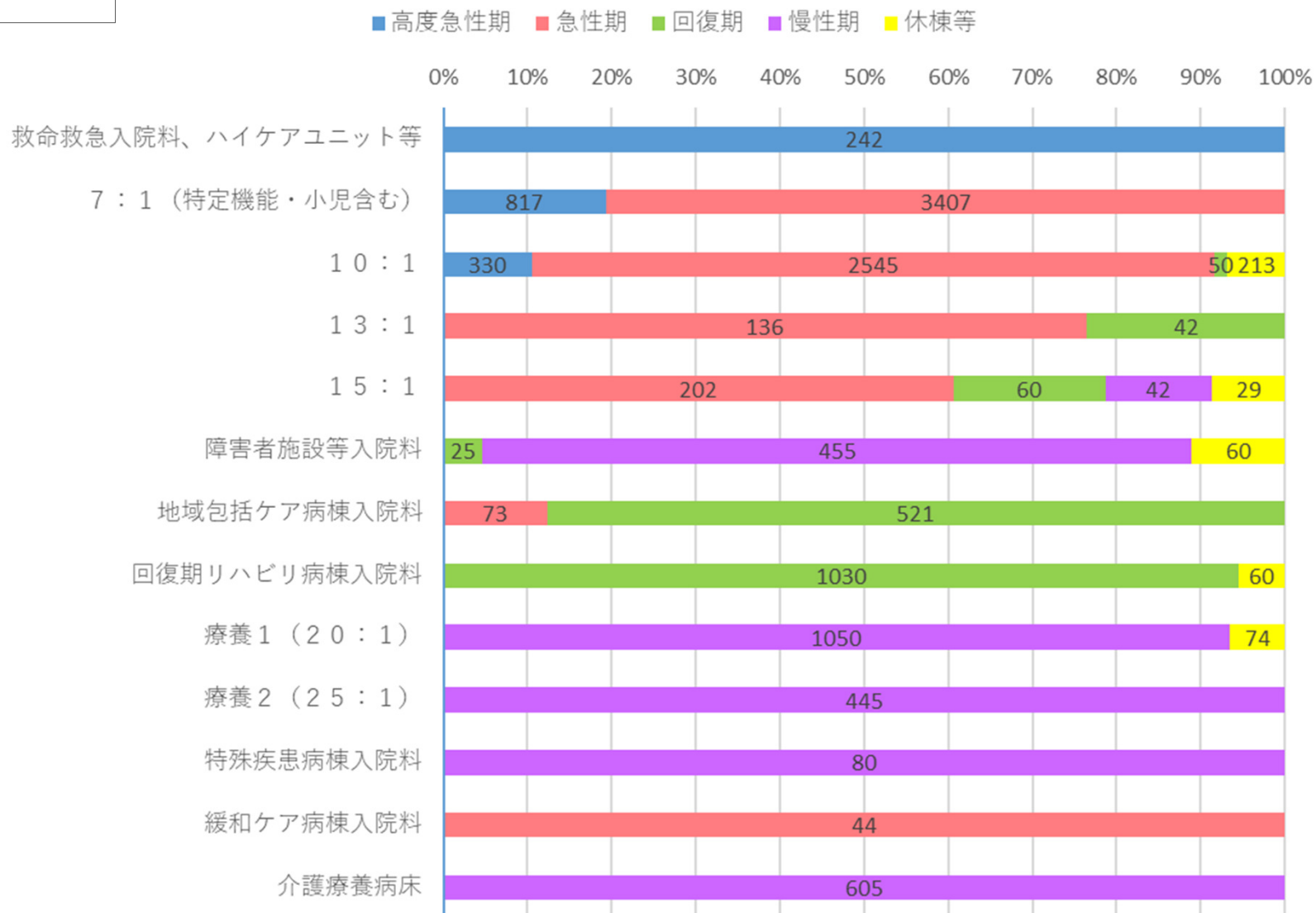
H27



医療機能別の入院基本料・特定入院料の届出病床の状況

【奈良県全体】

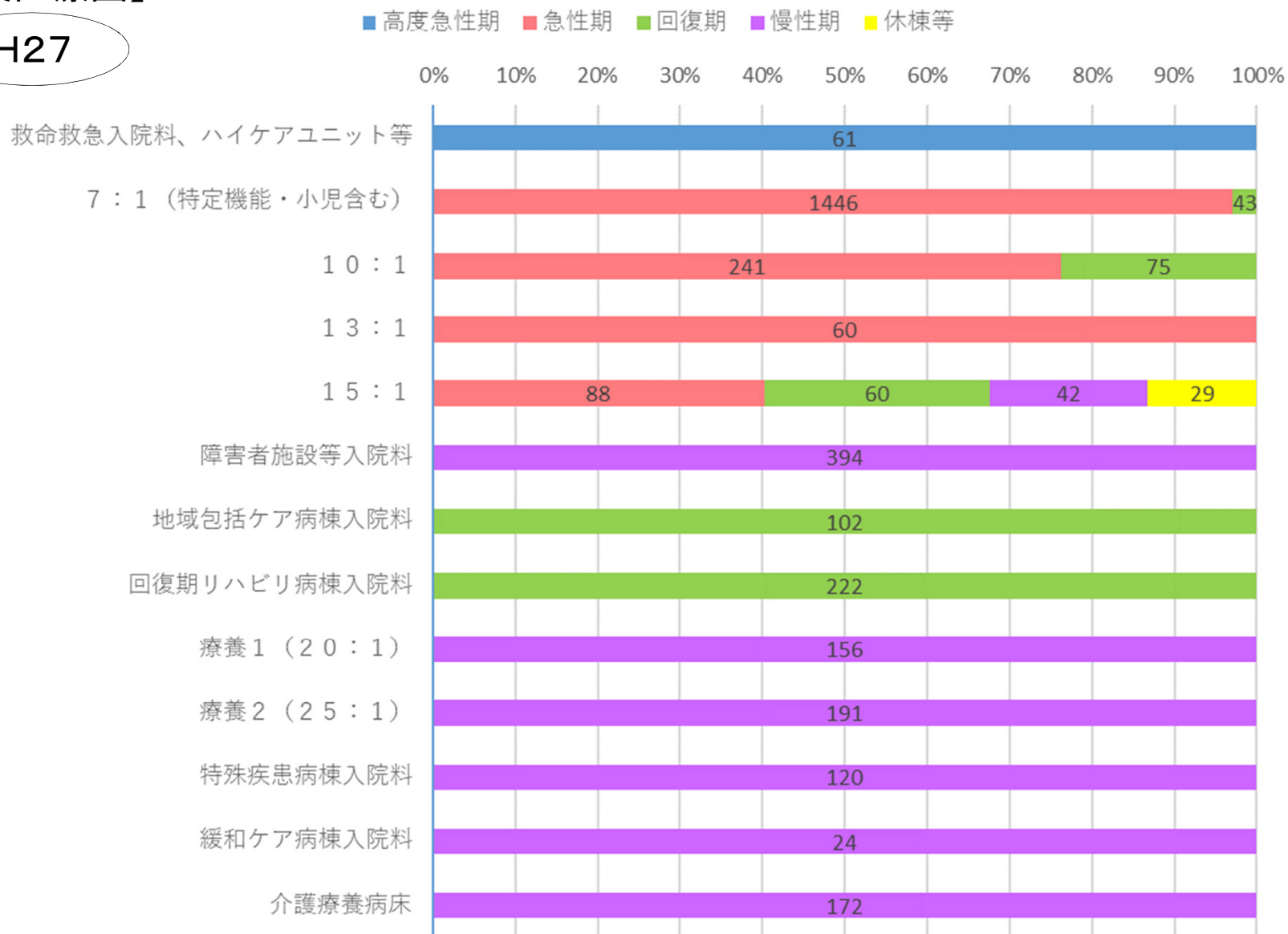
H28



医療機能別の入院基本料・特定入院料の届出病床の状況

【奈良医療圏】

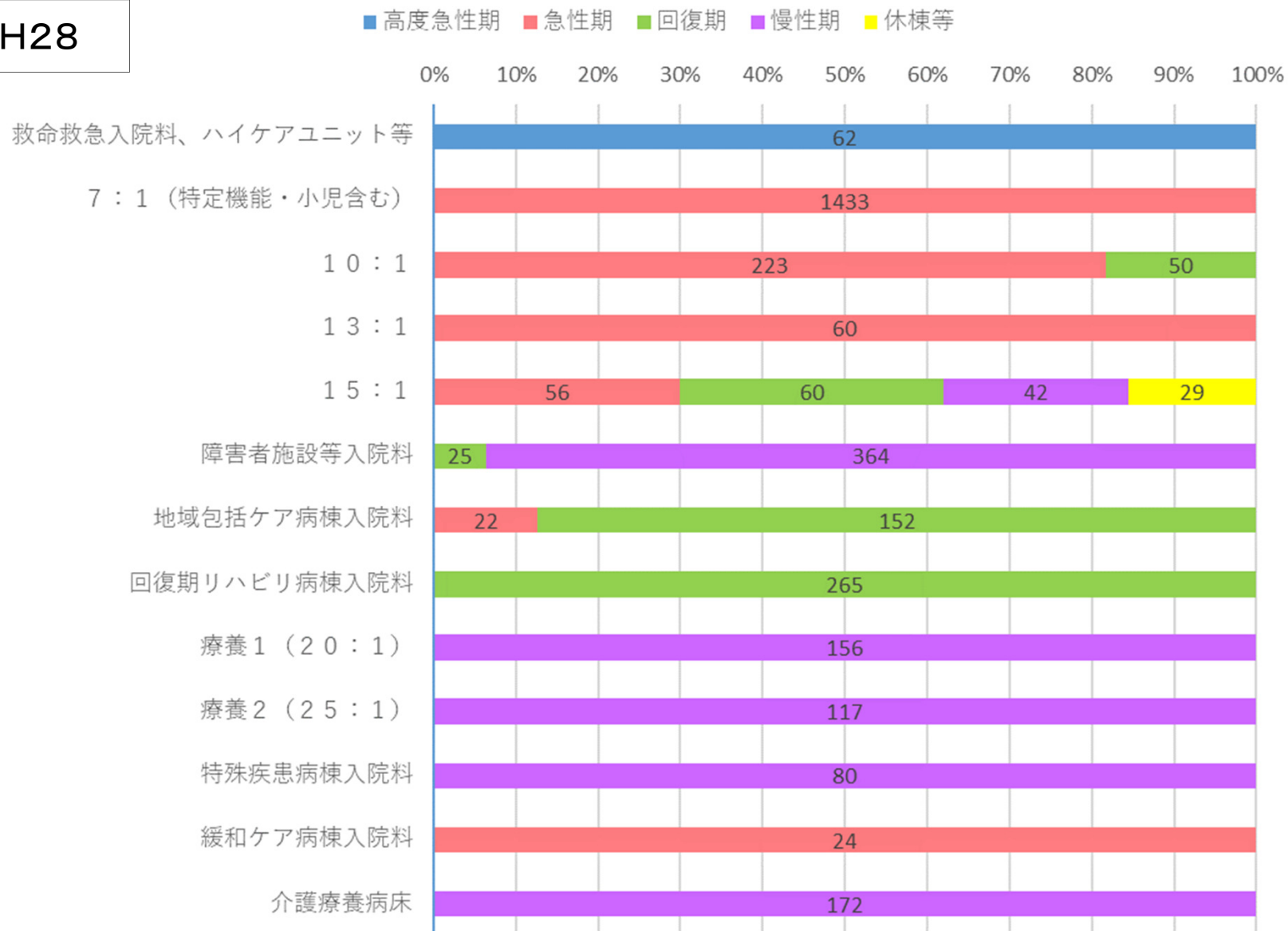
H27



医療機能別の入院基本料・特定入院料の届出病床の状況

【奈良医療圏】

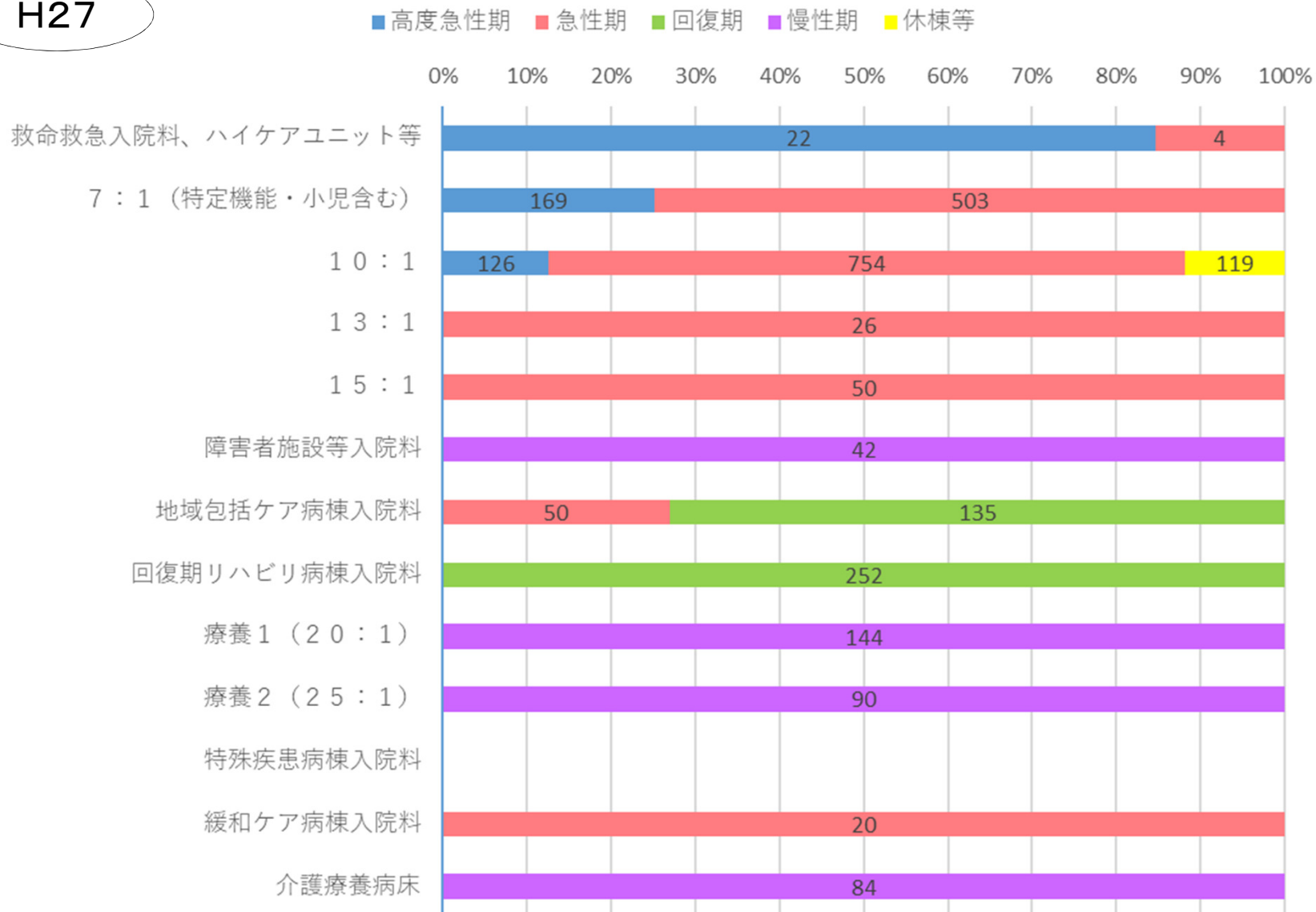
H28



医療機能別の入院基本料・特定入院料の届出病床の状況

【東和医療圏】

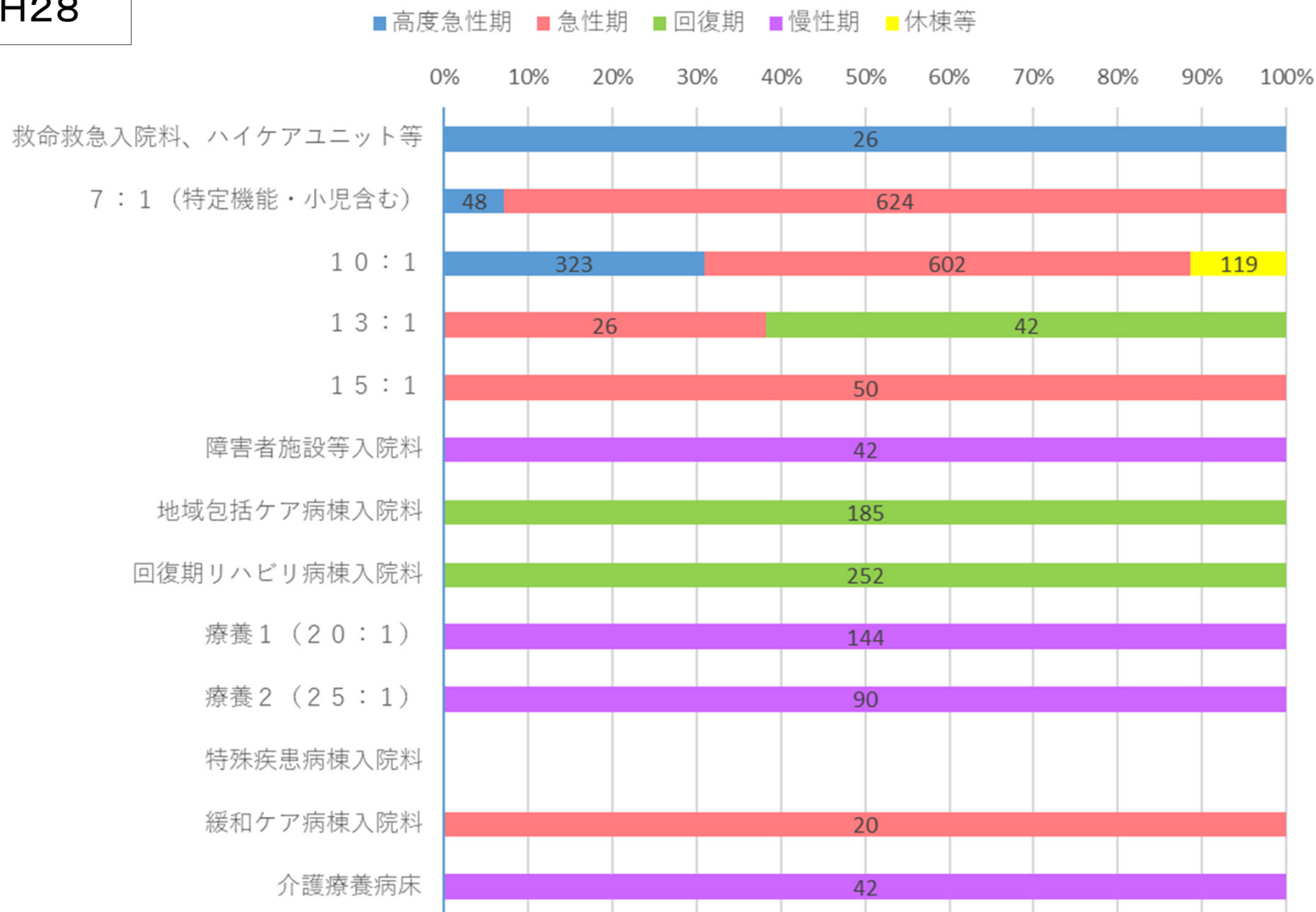
H27



医療機能別の入院基本料・特定入院料の届出病床の状況

【東和医療圏】

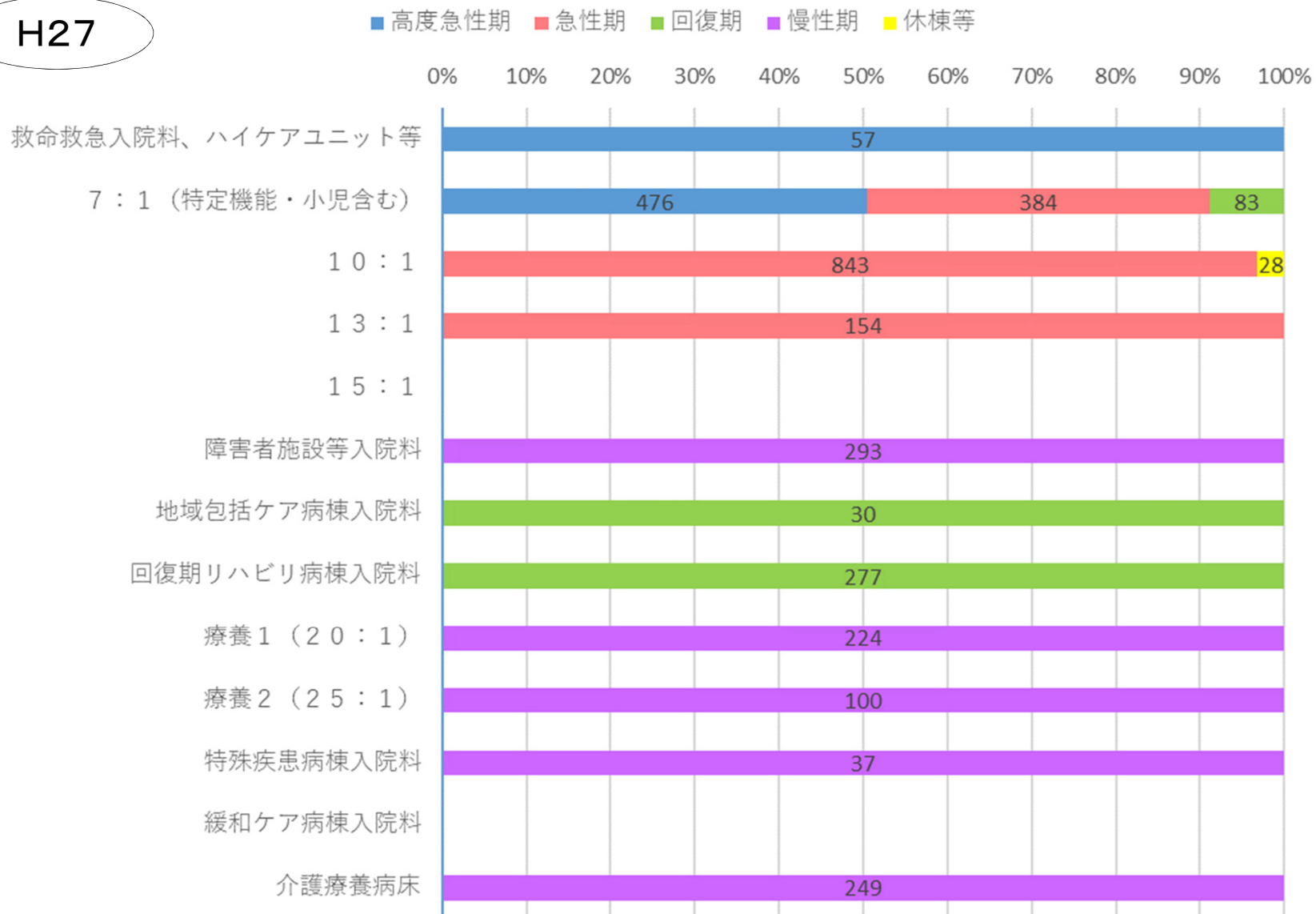
H28



医療機能別の入院基本料・特定入院料の届出病床の状況

【西和医療圏】

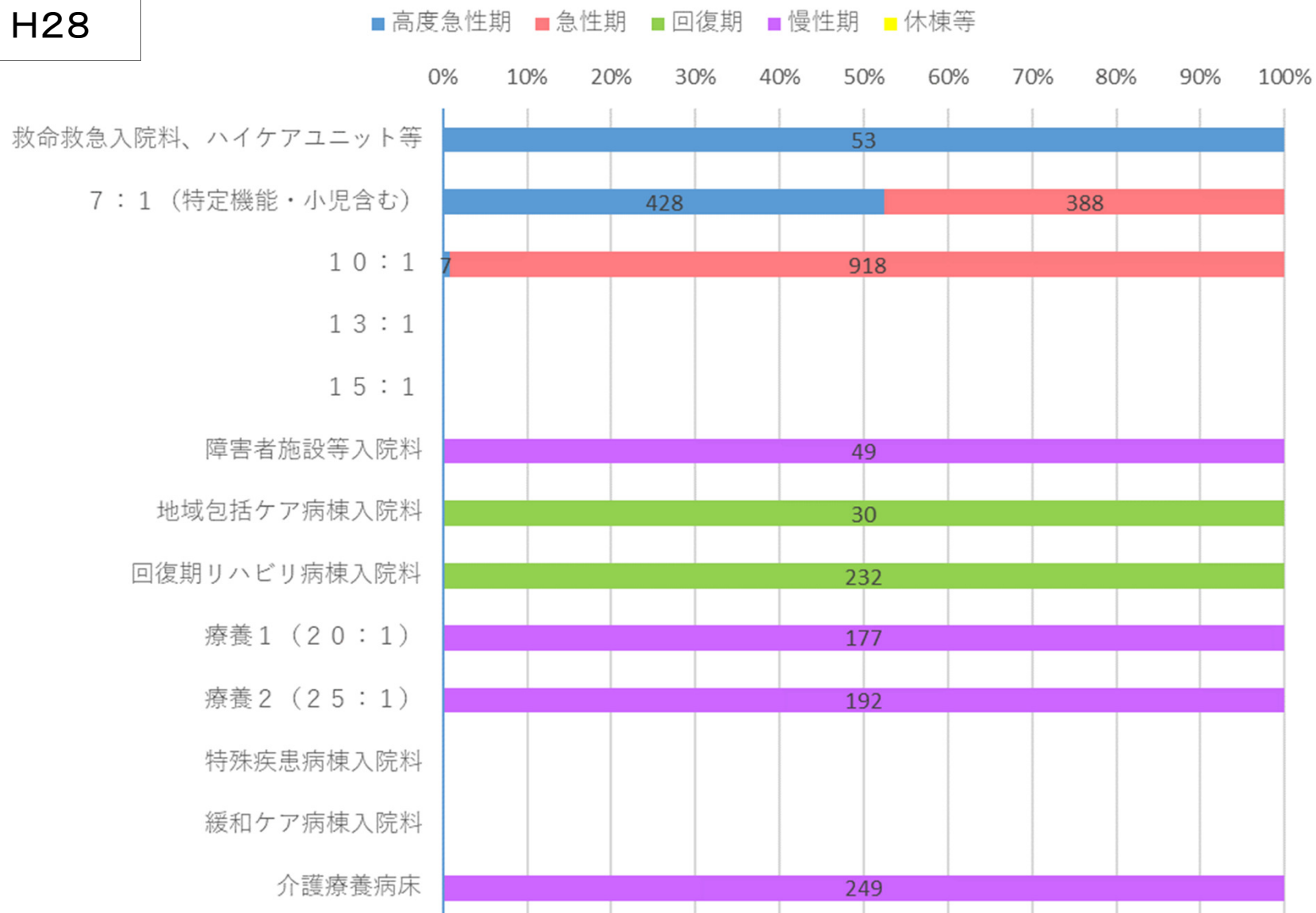
H27



医療機能別の入院基本料・特定入院料の届出病床の状況

【西和医療圏】

H28



医療機能別の入院基本料・特定入院料の届出病床の状況

【中和医療圏】

H27

